

平成28年9月 東京地区百貨店売上高概況

平成28年10月20日

I. 概況

1. 売上高総額	1,133億円余
2. 前年同月比	-3.4% (2か月連続マイナス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭-3.5%(89.7%) : 非店頭-2.5%(10.3%) ()内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	13社 25店 (平成28年8月対比±0店)
5. 総店舗面積	882,693㎡ (前年同月比:3.0%)
6. 総従業員数	18,932人 (前年同月比:0.2%)
7. 3か月移動平均値	2-4月 -0.1%、3-5月 -2.3%、4-6月 -3.1%、 5-7月 -2.2%、6-8月 -2.6%、7-9月 -2.6%

[参考] 平成27年9月の売上高増減率は4.9%

【特徴】

- (1) 9月の入店客数は、天候不順や休日1日減の影響を受けたものの0.9%増で2か月ぶりにプラスを確保したが、来店顧客のニーズをつかみきれず、総額では3.4%減で2か月連続のマイナスに終わった。
- (2) 商品別では主要5品目のうち、衣料品(-7.5%)、身のまわり品(-2.9%)、雑貨(-0.4%)、食料品(-0.9%)が前年を捉えられなかったものの、前月からは大幅な改善を見せた。一方、前月プラスだった家庭用品がマイナスに転じたことにより、昨年3月(消費増税駆込の反動減)以来18か月ぶりに主要5品目が揃って前年割れとなった。
- (3) 細分類では、前月2桁減だった婦人服(-11.0%⇒-7.0%)、子供服(-14.3%⇒-1.4%)に改善が見られたものの、生活防衛意識の高まりからか紳士服(-12.2%)が2桁減となった。なお、全国同様に化粧品は好調を維持しており、8.6%増で18か月連続のプラスを記録しているほか、その他衣料品、家電、その他食料品が前年を確保した。
- (4) 個別商材では秋物商材の動きが鈍く、本来であれば本格的な秋冬物商戦を迎えるための準備期間にありながら、ブラウスやパンツなど今着られる軽衣料の買い足しニーズに留まっている。また、七五三関連で呉服に動きが見られた。
- (5) 10月は16日現在約1%減で推移。中盤からの冷え込みにあわせてアパレル商材に動きが出始めているとの報告を受けている。

【要因】

- (1) 営業日数増減 30.0日 (前年同月比 ±0日)
- (2) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数19店舗)
①増加した:8店、②変化なし:3店、③減少した:8店
- (3) 9月歳時記(敬老の日、彼岸)の売上(同上/有効回答数11店舗)
①増加した:0店、②変化なし:6店、③減少した:5店

東京地区百貨店 売上高速報 2016年09月

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%)
総 額	113,343,266	100.0	-3.4
紳士服・洋品	8,423,973	7.4	-12.2
婦人服・洋品	21,717,238	19.2	-7.0
子供服・洋品	2,122,081	1.9	-1.4
その他衣料品	2,130,759	1.9	2.2
衣 料 品	34,394,051	30.3	-7.5
身のまわり品	16,863,920	14.9	-2.9
化粧品	10,535,384	9.3	8.6
美術・宝飾・貴金属	7,611,402	6.7	-7.6
その他雑貨	5,015,035	4.4	-5.5
雑 貨	23,161,821	20.4	-0.4
家具	1,462,654	1.3	-25.0
家電	622,226	0.5	23.9
その他家庭用品	3,942,395	3.5	-5.8
家 庭 用 品	6,027,275	5.3	-9.2
生 鮮 食 品	4,198,720	3.7	-3.2
菓 子	6,727,786	5.9	-2.7
惣 菜	6,090,669	5.4	-1.9
その他食料品	8,491,837	7.5	2.7
食 料 品	25,509,012	22.5	-0.9
食 堂 喫 茶	2,998,700	2.6	-2.8
サ ー ビ ス	1,872,003	1.7	4.0
そ の 他	2,516,484	2.2	10.8

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。
本統計には消費税は含まれておりません。

対前年増減(-)率(%)

商品券	1,883,898 千円	-2.2
従業員数	18,932 人	0.2
店舗面積	882,693 m ²	3.0

営業日数	30.0 日	前年	30.0 日
------	--------	----	--------

Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目は、昨年3月以来18か月ぶりに全品目がマイナスとなった。その他の品目は、化粧品が18か月連続、家電が2か月連続のプラス、その他食料品が3か月ぶり、その他衣料品が5か月ぶりのプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	-3.4	-	2か月連続マイナス
紳士服・洋品	-12.2	-1.0	2か月連続マイナス
婦人服・洋品	-7.0	-1.4	11か月連続マイナス
子供服・洋品	-1.4	0.0	3か月連続マイナス
その他衣料品	2.2	0.0	5か月ぶりプラス
衣料品	-7.5	-2.4	11か月連続マイナス
身のまわり品	-2.9	-0.4	2か月連続マイナス
化粧品	8.6	0.7	18か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	-7.6	-0.5	7か月連続マイナス*
その他雑貨	-5.5	-0.2	2か月連続マイナス*
雑貨	-0.4	-0.1	2か月連続マイナス
家具	-25.0	-0.4	2か月ぶりマイナス
家電	23.9	0.1	2か月連続プラス
その他家庭用品	-5.8	-0.2	5か月連続マイナス
家庭用品	-9.2	-0.5	2か月ぶりマイナス
生鮮食品	-3.2	-0.1	7か月連続マイナス*
菓子	-2.7	-0.2	2か月連続マイナス*
惣菜	-1.9	-0.1	3か月連続マイナス*
その他食料品	2.7	0.2	3か月ぶりプラス*
食料品	-0.9	-0.2	2か月連続マイナス
食堂喫茶	-2.8	-0.1	9か月連続マイナス
サービス	4.0	0.1	3か月連続プラス
その他	10.8	0.2	14か月連続プラス
商品券	-2.2	0.0	19か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・関 まで
 TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>